

2022年12月2日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 源氏田 尚子

Bangladesh国チョットグラムーコックスバザール間幹線道路整備事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2022年11月28日(月) 14:00～17:07
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229会議室)
- ・ワーキンググループ委員：阿部(貴)委員、小椋委員、源氏田委員、原嶋委員
- ・議題： Bangladesh国チョットグラムーコックスバザール間幹線道路整備事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) Bangladesh国チョットグラム-コックスバザール道路整備事業準備調査ドラフトファイナルレポート②
 - 2) Preparatory Survey for Chattogram- Cox's Bazar Highway Improvement Project in Bangladesh ENVIRONMENTAL IMPACT ASSESSMENT
 - 3) Chattogram-Cox's Bazar Highway Improvement Project (CCHIP) Resettlement Action Plan
 - 4) Chattogram-Cox's Bazar Highway Improvement Project (CCHIP) Resettlement Action Plan (RAP) __ANNEXES: Volume 1
 - 5) Chattogram-Cox's Bazar Highway Improvement Project (CCHIP) Resettlement Action Plan (RAP) __ANNEXES: Volume 2
 - 6) スコーピング案助言対応表_CCHIP_20221107
 - 7) 【SC時回答表】 Bangladesh国チッタゴン - コックスバザール道路整備事業(協力準備調査(有償)) SC案
 - 8) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第143回委員会)

- ・日時：2022年12月2日(金) 13:58～17:09
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 騒音対策として、詳細設計の結果に基づき、沿道の影響を受けやすい施設（病院・学校等）や住宅周辺での遮音壁の導入等を検討することをFRに記載すること。
2. 道路事業については、大気汚染への影響も考えられることから、詳細設計の段階でNO₂及び浮遊粒子状物質について定量的な予測評価を行い、必要な対策を講じるよう実施機関に申し入れるよう、FRに記載すること。
3. 盛土材料調達のための土取り場における環境社会影響について、コントラクターが選定された後、確認するよう実施機関に要請すること。

社会配慮

4. 土地等の財産を所有しない借家人や社会的弱者に対しては、安全で衛生的、かつ廉価性の高い住宅を斡旋するような仕組みをつくる、または既存のプログラムを最大限活用するように実施機関に申し入れること。
5. 被影響住民に過大な負担とならないように低利なマイクロクレジットを斡旋するように実施機関に申し入れること。また、マイクロクレジットの運営者が無理な返済を強要することのないように実施機関がRAP実施機関を通じて管理監督する仕組みをつくるように実施機関に申し入れること。
6. 雇用労働に従事する女性や自営業（農業を含む）でアンペイドな労働をしている女性が、所得創出活動のための研修へ積極的に参加するよう促すことを実施機関へ申し入れること。
7. RAPの実施段階において、ジェンダー規範のために社会的弱者である女性からの意見聴取が難しい点に配慮して、質疑応答にとどまらず、女性の意見や認識の把握に効果的なアプローチによるフォーカスグループディスカッションの実施を図るよう、実施機関へ申し入れること。

以上